

平成27年度 第7回（震災後第59回）
陸前高田市保健医療福祉未来図会議 議事録

テーマ：「みんなで住み暮らしやすい下和野団地（地域）について語りやすペえ」

日時：平成27年10月29日（木）13：30～15：30

場所：陸前高田市 下和野団地 6階集会室

参加：33名 28団体

資料：下記にアップ

<http://www.koshu-eisei.net/saigai/rikuzentakatakaigi.html>

1. 挨拶

菅野民生部長

未来図会議を市役所から出て行うのは初めてだが、災害公営住宅の第1号としてオープンしたこの下和野災害公営住宅で行うことに大きな意義があり、今後の地域づくり、まちづくりに大きな意味を持つと思う。未来図会議としても新しいステージの第一歩である。よろしくお願ひしたい。

2. 報告・協議内容

- (1) 未来図会議の目指すことと下和野団地「健康調査」結果の概要について
 - ・陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也
- (2) 他地域での取組みについて
 - ①宮城県東松島市「ささえあいのまちづくり」の視察について
 - ②「地域ケア会議」を通じた住民主体のまちづくり～横田町の取組み～
 - ・陸前高田市 地域包括支援センター（長寿社会課） 保健師 蒲生紋子
- (3) 下和野団地のいま
 - ・下和野団地 自治会長 白井佐一さん
 - ・本日お集まりのみなさん
- (4) グループディスカッション

お互いが「つながり」を持ち続けるためにできること

 - ①住民主体で……できること、②市民協働で……できること

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

今回は事前に及川区長や白井自治会長にも協力をいただいている。まず、未来図会議とは何か。下和野団地での暮らしと健康調査の概要について、岩室先生からお話しいただきたい。

(1) 未来図会議の目指すことと下和野団地「健康調査」結果の概要について

(陸前高田市地域包括ケアアドバイザー 岩室紳也氏)

地域のつながりで大事なものは、信頼、お互いさま、ネットワーク、きずなである。この言葉を「きずな」と読むのはご存じだと思うが、もう一つ読み方がある。浄土真宗 築地本願寺のお坊さんに教えてもらったが「ほだし」と読む。これは、手かせ、足かせ、迷惑、束縛のこと。お互いさまの関係ができて、若干の迷惑や役割がないと本当の意味でのきずなは生まれない。地域をつなぐ上で大事なことは、信頼、お互いさま、そしてお互いがつながるネットワーク。この3つの要素がそろっていることが大事である。

この災害公営住宅の入居開始が去年の10月。災害公営住宅をどのように運営するか。その仕掛けとしてこの交流プラザが4月に開設した。6月時点のアンケート結果を取り急ぎ集計した。回答が122名。120世帯中69世帯の回答をいただいた。

健康状態は、全体として健康な方が多い。外出頻度は、毎日1回以上外出しているのは男性が多い。ほとんど外出しない方、または週に1回程度という方がもっと外に出られる仕掛けが必要だと感じる。近所との行き来は、ある。男性は近所との行き来があるということがこの団地の特徴。それに対して女性は行き来が少ない。非独居でも男性は近所との行き来があるが、いろいろな仕掛けがうまくいっているのだと思う。また、家族以外で頼りにできる人は、比較的皆さんいらっしゃる。家族以外に頼りにできる人がいるということはずい。

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

「下和野交流プラザにお持ちください」という回収方法だったが、これに答えられるということは、それだけ元気だということが背景にあると思う。実際をお話しいたきたい。

(2) 他地域での取組みについて

(地域包括支援センター(長寿社会課) 蒲生紋子氏)

東松島市あおい地区を視察した経緯は、急速に進む少子高齢化などから公的なサービスでは限界が見えていられると言われている。今後、住民同士の支え合いが必要不可欠となってくることから、実際に取り組んでいる先進地で学ぶため視察へ行った。

あおい地区では協議会の中に少人数の専門部会をつくっている。例えば街並み、広報をつくる、ペットを飼うためのルールづくりなどを行っているが、年間120回以上集まって活動されたそうである。あおい地区が日本一のまちになるようにという思いが強く込められており、自分たちでよくしたいという住民の行動を、行政や社協がバックアップしていた。

今回の視察を受け、横田地区で地域ケア会議を行っている。8月4日に視察を行い、8月16日に第1回、第2回は10月14日に行い、20人前後の参加があった。会議は「住民が主役の会議ですよ」ということを伝えた上で、主人公は住民の皆さんということを通認識としている。また、意見の排除や否定をしない、積極的に参加してほしいと、グループワークの初めに話をしてから進めている。手探りであるが、横田町だけでなく全域に移したい。

(3) 下和野団地のいま

(下野和団地 自治会長 白井氏)

他県大学がとった調査結果だが、一番の不満は交通の便が悪いこと。下和野交流プラザに社会福祉協議会が来てから下に集まる人がふえて安心したが、年をとった方は何かあっても集まらない。どのようにコミュニティをつくっていくか考えると頭が痛い。

ここは行政区が1つ。各階に班をつくり毎月町内会費集めており、去年は黒字になったことから、ことしも黒字だと思う。今、区長の努力で省エネのための消灯活動を行っているが、今後どうするか考えながら進めていこうと思っている。また、ことしも県内の専門学校にお祭りを開催してもらい盛り上がったが、来年は誰がやるのだろうかと考えている。

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

専門学生たちがお祭りをしたときの様子について、及川区長からコメントをいただきたい。

下野和団地 及川氏：

8月22日に医療系の専門学校の学生さんに来ていただいたイベント「さんさ踊り」である。学生たちが皆さんを元気づけるために来ているが、参加する人数がカレーライスを食べたときは50人で最高だった。このさんさ踊りは40人くらい。私なりに頑張っているつもりだが、何かいい方法があったら教えていただきたい。また、県内大学からの世話もあり、学生が東側の空き地で農園づくりをしている。今は、はまらっせん農園を中心に、団地の約13名が畑づくりを頑張っている。

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

突然で恐縮だが、農園の話を一言いただきたい。

下和野公営住宅 住民：

最初は隣の人の顔もわからないような状態だったが、下和野市民交流プラザができ、畑ができると隣の人の顔や畑の人も見えてきた。収穫した野菜を下和野市民交流プラザへ出して、みんなに食べてもらい、みんなと交流できてきていると思うが、もっと仲間をふやしていきたい。

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

交流プラザの実際について、コメントをいただきたい。

社会福祉協議会 阿部氏：

市民交流プラザでは、月に1回昼食会を行っている。今月は芋煮会を行うことになったが、社協の生活相談員が結婚したことから「結婚のお祝いを一緒にしたい」という住民の発案でサプライズを行った。手づくりのなべやきをウエディングケーキに見立ててのケーキ入刀や「支那の夜」のダンスの披露など盛り上がった。参加できなかった方から「私も習いた

かった」という声もあるので、下和野ダンサーズのような感じで広がりが出てくると感じた。

社会福祉協議会 松本氏：

市民交流プラザに集まっている人たちの軽いフットワークと企画力がうれしく、本当に感動した。自治会長も区長も謙遜しているが、夏祭りは畑でとれた野菜を市民交流プラザで調理し振る舞ったという出店のようなことができたので、来年もできると思っている。自信を持って自慢したい。集まりの場に人が集まらないことも事実だが、市民交流プラザも人がふえているという実感もある。みんなで力を合わせ、日本一の公営住宅にしていきたい。

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

協働センターの皆さんからも、ぜひ一言いただきたい。

陸前高田まちづくり協働センター：

私たちはNPO・NGO・企業の連絡会議を行っており、その中で「下和野に暮らしている皆さんは困っていることはないか」ということも話に出ているが、きょう、楽しくやっていると聞いて安心した。イベントやサロン活動などで困ったことがあったら、協力できることもあると思うので、ぜひお声がけいただきたい。

高田町で市民会議という、高田町がどのようになつたらみんなにとって暮らしやすい場所になるかということに住民の皆さんが中心となり一緒に進めている。毎月夜に1回行っているのご参加いただきたい。未来図会議のように出張も可能なので、よろしくお願ひしたい。

健康運動指導士 藤野恵美氏：

各地域の健康運動教室の活動状況について、いつも行っているところが横田中、横田小、細根沢、下矢作小、第一中学校、竹駒、米崎、第二グラウンド。下和野も入っているが、月1回でいいというのがここだけである。きょうは、「ぜひ体操の希望があれば行きますよ」ということを伝えるために参加した。また、「フィットネスダンスフェスティバル in 陸前高田」という、日本の楽曲で健康づくりをしようという集いを計画している。避難所から変化はしているが、体操を届けてつながりになればいいという思いで続けている。

(4) グループディスカッション

お互いが「つながり」を持ち続けるためにできること

①住民主体で……できること、②市民協働で……できること

1 グループ発表：

住民主体では、月例一斉に掃除をする。資源回収、農園。女性向けにガーデニング。子供から若い人向けにイルミネーション。収穫祭などのイベントの開催、おいしいもの・名物をつくらうという意見が出た。または、交流プラザでお弁当をつくって売る。

市民協働では、集まる機会を提供するというこで、バザー、文化祭、町民運動会、子供

主体の虎舞が出ている。あとは、火の用心、横田町の地域ケア会議も挙がっている。

2 グループ発表：

住民主体では、交流プラザに新人さんを連れてくる。きょうみみたいな場にどんどん参加するということが出た。すぐ取り入れられることとして声をかける、声をかけに行く。毎日の挨拶を行い顔見知りになっていく。男性の出る場がないというところで、男性に役割を持ってもらうため役員をふやすという案も出た。みんなの共通スペースに卓球台を置く。ゴミステーションの前にベンチを置き、集える場所をつくる。ゴミ捨ての時間に時間制限を設けて顔見知りになる。同じ階、班ごとの交流会を開催して顔なじみになるという案も出た。

市民協働では、りくカフェさんの出張スマートクラブに参加。移動販売車にたまり場をつくり、買いに来たついでに話をしていく「はまかだスペース」の設置や日陰のスペースに「はまかだスペース」をつくる。東松島市を参考にテーマ別の公園を要望するという案が出た。

3 グループ発表：

住民主体では、イベントを結構やっています農園や、花っこ花壇女子、クリスマス会やお誕生日会などが挙がった。住民それぞれの特技を生かして先生として呼び、お誕生日会をすればいいと挙がった。7階建ての災害公営住宅で、各部屋に光があるので、みんなで一斉にライトを消したりつけたりするプロジェクトマッピングもいいと挙がった。

市民協働。芋煮会、お食事会、ギョーザやカツをつくって食べる。市内各地で開催している男の料理教室の下和野公営住宅バージョンも楽しそう。防災訓練を開催して消火器の使い方を皆さんで学ぶのもいい。子供を交えてイベントを実施するのもいい。AEDが入るということで、AEDの講習会。下和野公営住宅ダンスクラブをもっとやっていきたい。下和野公営住宅のチームをつくって料理コンテストに応募できれば楽しいという意見が挙がった。

4 グループ発表：

住民主体では、挨拶、立ち話。今も行っている囲碁、将棋、マージャン大会や農園。中庭の活用もできたらいい。忘年会・新年会などの〇〇会、自治会の収入を豊かにするというところで廃品回収。お隣同士のごみ捨てのお手伝いがあるとながりがふえるなどが挙がった。

協働は、勉強会や料理教室、医療懇談会、防災訓練や遠足・旅行の企画、イベントのマッチングなどが挙がった。

5 グループ発表：

住民主体では、飲んだり食べたりする機会があればいいということで昼食会。農園でとれた野菜を使い、みんなで料理をして食べる。ラジオ体操を住民主体で継続して行う。集まってくれない方・来てくれない方には住民みずから声かけをする。様子を見に行く。住民から発信するという意味で下和野新聞を発行してはどうか。学生が中心となり若い人たちが盛り上げる。団地の放送部をつくり、復興住宅のPRDVDをつくるという意見が出た。

イベントとして、住民対抗の町民運動会に似た何か。大学生が企画するイベントはある

が、逆に住民の方に主催・企画していただき、大学生が参加できるイベントの開催。下和野Tシャツをつくり、おそろいにする事で団結力が上がるということも挙げた。

協働について。盆踊りや新しいお祭りの企画。夜市・フリーマーケットを夕方から夜にかけて開催する。地域ケア会議を開催したい。住民主体のPRとしてフェイスブックで住民ページをつくり、市のホームページからリンクできる仕組みがあればうれしい。環境整備の面から自治会が相談しやすいよう、ほかの機関と連携した環境づくりなどが挙げた。

地域包括ケアアドバイザー 佐々木亮平氏：

きょう全部を振りかえる時間はないが、岩室先生にまとめていただきたい。

ヘルスプロモーション推進センター 岩室紳也氏：

この住宅ではさまざまな取り組みが行われており、それぞれが小さなネットワークとして機能している。どれもすばらしい活動だが、それだけではだめだと皆さんが思っている。このような活動を丁寧に一つひとつをつないでいくことで、みんなが元気な下和野ができあがっていく。皆さんの活動を拝見したところ、大分進んでいるので広げていくことに時間はかからないと思う。

3 その他連絡・アナウンス

尾形健康推進課長補佐：

11月22日9時半から15時。コミュニティホールにて、「はまって、かだつて、つながつて、みんなで輝く陸前高田」を開催する。皆さん声をかけ合い、いらしていただきたい。

りくカフェ：

介護予防講座でスマートクラブを開催している。来年1月からの4期に、ぜひ参加していただきたい。また、出張スマートクラブを企画している。ぜひ相談に乗っていただきたい。

地域包括支援センター：

11月7日、午後1時から4時半、コミュニティホールで「認知症は予防できる！改善できる！」というテーマで市民講座を開催する。ご近所をお誘い合わせの上、参加してほしい。

陸前高田市復興支援連絡会：

お茶会の開催や支援団体による交流イベント等をマッチングしている。気軽に相談してほしい。会報は仮設には各戸配布し、交流スペースにも置いてある。目を通していただきたい。

◇次回：平成27年11月20日（金）

メインテーマ：（仮）障がいから見る健康づくり

会場：市役所第4号棟第6会議室